



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-5550-7062
担当者の所属・氏名 リハビリテーション科 古澤優守
(代理)

【研究責任者】

聖路加国際病院 リハビリテーション科 古澤優守

【研究代表者】

聖路加国際病院 リハビリテーション科 古澤優守

脳出血・脳梗塞の方を対象とした理学療法の効果に関する研究

1.研究の対象

2017年1月から2022年12月末の間に、聖路加国際病院で脳出血もしくは脳梗塞と診断されご入院後、当院へ転院された方

2.研究の目的・方法

現在、脳卒中発症後早期から理学療法を開始することは患者さんにとって有益であることが分かっておりますが、その中でも「離床を開始する時期」に関しては議論が続いているところでもあります。そこで今回、離床時期の違いが機能予後に及ぼす影響について明らかにしていくこと目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

年齢、性別、カルテ番号、病歴、入院中の血液データや動作能力の状況等

4.外部への試料・情報の提供

共同研究施設へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと研究の対象の方との本研究用の識別コードの作成及びそのコードと元データを対応させた表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

医療法人 巨樹の会 江東リハビリテーション病院 リハビリテーション科
所属長 畠田将行